

聖霊、福音、そしてユダヤの伝統の用い方

2008年6月25日 アシエル・イントレーター

イスラエルの教会リーダーたちの中で、メシアニック・ジューの生活の中でのユダヤ教の伝統とラビの教えについて継続した論議が取り交わされています。私の立場としては、私たちは1) 聖霊の働きにおいて強固であること、2) 福音を大胆に伝えること、そして3) ユダヤの伝統を用いるのにバランスを保つことが必要と思います。

ここに皆さんを励まし、私たちの見解を支持する例としての良い証があります。今週イスラエル生まれの正統派ユダヤ教徒である3人の新しい人々が、エルサレムにある私たちの教会にやってきました。一人はすでに主を受け入れています(最初の接触はスカット・ハレル(24時間賛美と祈りの働き)でしたが、それ以降教会には行っていないとのことです)。二人目はSさんとMさんによって連れてこられました。三人目は私と何度か会話を交わした後やってきました。

彼らは、控え目に言っても、教会に足を踏み入れるのをためらっていましたが、彼らが入ってきた時、彼らが見たのは、人々が彼らを愛と受容で対応したことでした。私たちが主を賛美し始めるや、彼らが聖霊に触れられるまでほんの数分とかかりませんでした。私たちは癒しの祈りを行い、またトーラーの巻物からの朗読も行いました。私はヨハネ 10 章から、イエシュア(イエス)は神と一つであられ、ヨハネ 17 章の、イエシュアと御父と私たちが一つになれるようにイエシュアが私たちのために祈って下さった箇所を教えました。

私たちが大喜びしたのは、このまだ救われていない正統派の男性二人がメッセージの後、前にやってきて公に主であり救い主であるイエシュアを受け入れることを祈り、主の死と復活を信仰によって宣言したことでした。言うまでもありませんが、私たちは彼らと共に喜びました。

一体何が、彼らが主を受け入れるようにしたのでしょうか。それはユダヤ教の伝統的な習慣ではなく、聖霊の力によるものです。(興味深いことに我々が祈った時、彼らの内の一人は床に倒れました。教会で彼以外の者は誰も倒れなかったのですが、このようなことは彼の人生において、彼は一度も見たことがありませんでした。彼は、彼を覆う聖霊のご臨在に、立っていられなくなったのです。)

その一方で、礼拝の中には伝統的な要素もあったので、彼らをくつろいだ気分させ、心を開かせたのです。私たちの礼拝ではヘブライ語のみを使い、ラビ的な教えに詳しいメンバーも多くいます。敬虔なユダヤ教の家庭で育ち、キブツのメンバーであるタルは、特に私たちのメシアの信仰について彼らと会話をするのに大いなる助けとなりました。

ユダヤの伝統や文化は私たちのメッセージではありません。私たちのメッセージはイエシュアです。しかし、ユダヤの伝統の要素は救いの良き知らせを分かち合う文脈を与えてくれます。しかしメッセージと文脈を混同させないようにしましょう。もしある人が本当に救われてほしいと思うのなら、私はメッセージを彼の文化と世界観に自分を合わせて持って行きます。その一方で、もし文化的な教えがメッセージそのものを覆ってしまうようならば、本質を完全にはずしてしまうことになるのです。

正しいバランスをどうやって見つけることができるでしょうか。愛、福音、そして聖霊に重点を置くことです。あなたがある人を愛する時、その人を理解したい、会話したいと思うでしょう。福音を分かち合う時、自分の進む方向に存在すると思われるすべての障害物を取り除きたいでしょう。聖霊に導かれた時、どんな状況であっても何が正しく、何が間違っているかを見分けることができます。文化的表現の中で臨機応変である自由を、私たちは持っています。私たちはバランスを保つ識別力を持っています。

Ⅰコリント 9:20-21「ユダヤ人にはユダヤ人のようになりました。(中略)律法の下にある人々には、私自身は律法の下にはいませんが、律法の下にある者のようになりました。(中略)律法を持たない人々に対しては、私は神の律法の外にある者ではなく、キリストの律法を守る者ですが、律法を持たない者のようになりました。」

イエシュアは私たちに「パリサイ人のパン種」について警告しました。プライド、律法主義、イエシュアを拒絶すること、メシアニック・ジューを拒絶すること、そしてあるラビ的な教えの中に異邦人に対する人種差別(マタイ 23 章)のように、確かに危険な要素があります。しかしその一方で、イエシュアはまた「ヘロデのパン種」(マルコ 8:15)に対しても警告しました。それは世俗社会として理解できると私は思います。ユダヤ人の宗教指導者たちの中に偽善があるように、クリスチャン指導者たちの中にもあります。ユダヤ人の宗教社会に危険があるように、イスラエルの世俗社会の中にも危険があります。

「主よ。今こそ、イスラエルのために国を再興してくださるのですか。」(使徒 1:6)と叫んだ時の弟子たちの心が聞こえますか。どれほど彼らが自分の民を愛していたか感じますか。どれほど神の約束が自分の国において成就することを切望していたか分かりますか。私たちは、律法と預言書にある私たちの民に対する約束がすべて成就するのを望んでいます。それはどのようにして起こるのでしょうか。「しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」(使徒 1:8)

弟子たちに対してイエシュアは、聖霊に満たされ、世界中に福音を伝えることが私たちの国(イス

ラエル)を復興させる弟子たちの叫びに対する答えであると指示しました。政治、宗教、軍隊そして経済だけでは聖書的な復興を私たちの民(イスラエルの民)にもたらすことはできません。まず、私たちは聖霊の力に重点を置き、それから他の人々にイエシュアのメッセージを分かち合うのです。そうするならば、神はご自分の御国のすべてをイスラエルに回復させ、同様にすべての国々にも回復させるのです。

私たちの、自分の国に対する叫びは、イエシュアの初期の弟子たちのものと同じです。(「あなたの御国をイスラエルに復興させて下さい。」)私たちに対する主の答えは、弟子たちへの答えと同じです。(「聖霊の力に満たされて福音をどこでも証しなさい。」)

どうか私たちと共に信仰を持って祈りましょう。私たちは皆さんを必要とし、感謝しています。